

観覧のご案内

開館時間／3月～11月 9:00～17:00(受付終了16:30)
12月～2月 9:00～16:30(受付終了16:00)

休館日／水曜日、年末年始(12/28～1/6) ※1月5日(火)
※2027年は、1月7日(木)より開館いたします。ご留意ください。

入館料金 (消費税込)

	個人	団体(20名以上)
一般	1,000円	900円
高大生	400円	300円
小中生	300円	200円

※この料金で企画展のほか常設展示6棟および庭園を観覧いただけます。



2026(令和8)年2月14日発行
(初版) ※掲載情報は、変更となる場合もございます。
最新情報は、ホームページ・X等でお知らせしています。

今でも江戸時代・城下町の趣が漂う町、山形県鶴岡市。

致道博物館は、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家が、郷土文化の向上のために土地建物や伝来品を寄付し、昭和25年に創設されました。移築した3棟の重要文化財建造物、国指定名勝庭園を保存公開しているほか、考古・歴史・民俗・美術工芸などの多分野にわたる資料や酒井家伝来の文化財を豊富に展示し、庄内の歴史と文化を広く紹介しております。



公益財団法人致道博物館 交通案内



〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10番18号
Tel 0235-22-1199 Fax 0235-22-3531
<https://www.chido.jp/> E-mail:infochido@chido.jp

致道博物館 2026年度 年間スケジュール

©2015 ENOALLC/NITROPLUS



刀劍男士
短刀 銘吉光
名物 銘信濃藤四郎

刀劍男士
古備前信房
大刀 銘信房作

特別展「武装美伝」に出陣!!

致道博物館
CHIDO MUSEUM

商標の「刀劍男士」は、山形県内藤酒井酒井頭削の登録商標に登録し、出典は「刀劍男士」の「山形県内藤酒井酒井頭削」を指すものです。

CHIDO MUSEUM Exhibition Schedule

昭和古戦 民俗館 鶴岡ノスタイルジア	戦国武将の手紙を分析したせいで戦国時代が嫌い、戦国時代を嫌うなどなどと云うが、
ごりあやたまげ!	なんとか云うが、
金子皓也コレクション 一下駄一	金子皓也コレクション 一下駄一
武装美伝 一刀剣と甲冑一	武装美伝 一刀剣と甲冑一
刀剣乱舞 ONLINE10回記念コラボ	刀剣乱舞 ONLINE10回記念コラボ
鶴岡名物展 2026 Summer	鶴岡名物展 2026 Summer
ジョートーハグランカイ	おハグの
桜小ミニチュアおどろき2万点	常設展示のみ (会場展示)
常設展示のみ (会場展示)	休館日 ※水曜、最終日、年末年始(12/28～1/6)

April							May						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	10	11	12	13	14	15	16
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					
June							July						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					
August							September						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					
October							November						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					
December							January						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					
February							March						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					

致道の伝統行事

各流茶会《喜千家・大日本茶道学会》

お通期開催の「庄内茶三園模様」。甘利社
主催の茶道会に、茶席が開催されます。
開催会場は、喜千家が提供する庄内茶。

土曜講座(全3回・各講座要申込み)

2026年
月 5月11日
土曜
午後1時半開講。約30分アラート。毎回卅分間講座です。
庄内の茶道文化、茶道座前研究の講題に則り、
庄内茶を中心とした庄内茶の文化と茶道文化を学んで、
お通期で開催されます。

少年少女古典素読教室(全14回)

月 6月8日
土曜
午後2時半開講。約30分アラート。毎回卅分間講座です。
庄内の茶道文化と古典素読を学んで、茶道の
文化、庄内茶道と茶道研究の講題は読み書きを学んで、
お通期で開催されます。

「友の会」の集い(鶴岡・東京懇親会)

月 7月24日
金曜
午後2時半開講。約30分アラート。毎回卅分間講座です。
庄内の茶道文化と茶道研究の講題は読み書きを学んで、
お通期で開催されます。

多層品嚮・旧渋谷家住宅の「火なき」

月 1月3日
日曜
午後2時半開講。約30分アラート。毎回卅分間講座です。
庄内の茶道文化と茶道研究の講題は読み書きを学んで、
お通期で開催されます。

先賢を偲ぶ会

月 2月14日
日曜
午後2時半開講。約30分アラート。毎回卅分間講座です。
庄内の茶道文化と茶道研究の講題は読み書きを学んで、
お通期で開催されます。

三の茶会企画展開催イベントなど、茶席を通じて色々な茶事
を行っていきます。詳細は随時お知らせします。

ちどうふれんす☆致道と関わる☆

★致道博物館「友の会」

展示や各種イベントを通じて我を進め、会員相互の親睦を
はかります。お得な特典に加え、何度でも無料で入館いただけます。(2027年3月末まで有効)

料金 年会費 照料入館

普通会員 3,000円 喜千家1名様

特別会員 6,000円 喜千家3名様

賛助会員 10,000円 喜千家5名様

学生会員 小中生300円/高校生400円 本人の名

★Chihakuサポーター(ボランティア)

2025年秋に発足した登録制ボランティア組織です。

「Chihakuサポーター」は、随時募集中です!

2026年度 致道博物館 展示&イベント案内

昭和百彩 民俗編 鶴岡ノスタルジア

3月7日(土)~4月20日(日)

昭和時代は「激動の時代」と称されます。
日本人の生活様式を劇的に変えた「暮らしの道具」に焦点をあてながら、懐かしさ
昭和の時代を振り返ります。

こりやあ、たまゲタ！ 金子皓彦コレクション 下駄

4月25日(土)~6月28日(日)

日本の伝統的な履物、下駄。その起源は、稻作に使われた農具「田下駄」にあるともいわれ、長い歴史の中で多様な形態へと発展してきました。本展では、日本の工芸品を世界各地から収集し、研究を進める金子皓彦氏(日本輸出芸芸研究会会長)のコレクションを中心に、下駄にまつわる多彩な資料を紹介します。こりやあ、たまゲタ！下駄の未来が、ここにあります。

金子氏の蔵集仲間・坂崎幸之助氏(THE ALFEE)所蔵の引札コレクションが、特別協賛として初公開されます！

武装美伝 一刀剣と甲冑

7月2日(土)~8月31日(日)

山形県内に伝わる名刀、室町～江戸期の甲冑を展示します。庄内藩主酒井家伝來の太刀銘信房作、同真光(ともに国宝)、短刀銘吉光・色々威胴丸(ともに重要文化財)をはじめ、新收藏の鎧兜、脇指鎧広も出品。武具に宿る工芸美、こだわりや伝承・伝来に迫ります。会期中は、上林恒平刀匠(県指定無形文化財保持者)の制作実演ほか、イベント多数。



極小ミニチュア おどろき2万点 川内由美子コレクション、 全部

本気で魅せます、飾ります。
この規模、二度とない展覧会！
9月5日(土)~11月16日(日)

極小雑道具研究家・川内由美子氏のミニチュアコレクションを、一挙公開。幼少時より「本物そっくりに小さく作られたモノたち」に心を惹かれてきた川内氏。その確かな審美眼によって選び抜かれた、精緻で奥深いミニチュアの世界が広がります。本展は、常設展示「アンティークミニチュア洋食器(もうひとつ)」川内由美子コレクション」とあわせてご覧いただけます。この規模でのコレクション公開は、今回限りとなります。

最初で最後。チハク、本気で魅せます、飾ります。

由美子の自作

見つけたモノ

戦国 武将の手紙を分析したせいで 戦国 時代が嫌い、でもそんなところが 好きってなるはず展

11月21日(土)~2027年1月31日(日)

戦国時代、全国各地には大小多くの領主がいました。隣り合う、あるいは遠く離れた地の武将たちが、日々手紙(書状)を交わしていました。本展では、豊臣秀吉をはじめ、最上義光、伊達政宗など、山形県内に伝わる古文書を中心に紹介します。

情勢報告や贈答の礼、和平交渉などのなかには、時に人間くさい本音と建前が入り混じることもあります。手紙を読み解くことで浮かび上がる戦国模様、本展を観れば、沿こと間違いない。ぜひ、チハクへ、刀剣と刀剣男士に会いに来てくださいね！



2026年度 庄内姉様人形教室作品展
10月予定
第19回「砂の会」作品展 10月31日(土)~11月3日(日)
第30回 鶴岡東洋蘭同好会「春蘭展」2027年3月予定

第47回 鶴岡書道会会員展 二本立て企画書道王国鶴岡の源流

2月4日(土)~3月9日(日)

第47回を迎える「鶴岡書道会 会員展」では、昭和8年の創設以来、流派を超えて活動してきた会員による多彩な書の表現を紹介します。あわせて企画展「書道王国鶴岡の源流」では、黒崎研堂、松平穆堂ら、明治以降に鶴岡の書道文化の礎を築いた書家に光を当て、「書道王国」と称されるに至った地域の書の歩みをたどります。現在の書と、その源流を同時に展覧する、初の二本立て書道展です。

第33回 鶴岡雑物語

2月20日(土)~4月4日(日)

鶴岡に春を告げる恒例の行事「鶴岡雑物語」展。当館では、旧庄内藩主酒井家や市内旧家に伝わった雑人形や雑道具などのほか、全国でも珍しい生菓子「鶴岡伝統のお雑菓子」を一堂に展示します。雅やかな彩りとともに、大名家ならではの典雅な雑祭りをお楽しみください。

酒井家酢漬草紋・熊本細川家九曜紋入雑道具(山形県指定有形文化財)

ジョートー^{ハグランカイ!} チハクのお蔵出し

3月13日(土)~5月17日(日)

設立から75年を経た致道博物館。長い歩みの中で収蔵された資料は、時代も分野も実にさまざま。なかには、展示機会がなかったもの、長らく眠ってきたもの、「この機会でなければ、展示できなかつた」資料もあります。本展では、この「お蔵出し」資料に光を当て、当館収蔵品の奥深さを紹介します。思わず「ジョートー・ハグランカイ！」と声がかかる、意外な発見との出会いをお楽しみください。

※「ジョートー・ハグランカイ(上等博覧会)」は庄内方言で、「よいもの、すぐれたもの」に出会ったときの、驚きや感動を表す言葉です。

きらきら光る、鶴岡市朝日地区・大島の逸品。
長い眠りから、ようやく自覚めます！

